

水害時等の衛生対策と消毒方法

大雨などで家屋等が汚水で浸水すると細菌が増えるなど、感染症や食中毒が発生しやすい環境になります。そのような場合は次の手順を参考に衛生対策や消毒を行いましょう。

衛生対策

◆床下浸水の場合

- ・家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
- ・水で洗い流せる場所は、汚れを洗い流して下さい。
- ・床下にたまった汚水は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。

◆床上浸水の場合(床下浸水の対策に加えて)

- ・水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ・汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
- ・食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ・食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

◆食中毒、感染症の予防に

- ・水道水に異常を感じた場合はお住まいの市町の水道担当課へ相談してください。
- ・水につかった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品は、できるだけ廃棄してください。
- ・食事の前や用便の後などは、しっかりと手を洗ってください。
- ・からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。

消毒方法

消毒が必要な場合は尿尿、下水、動物の死骸あるいは氾濫した汚水で汚染された床下、壁面、家財家具、食器、井戸水等です。消毒は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は必要最小限としましょう。また、使用の際には、取扱い説明書に従い、事故が起こらないよう注意してください。消毒は、主として細菌感染(大腸菌等)を防止する目的として記載しています。

◆準備と注意事項

- ・汚れたところ(物)を洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。その後、消毒を行います。
- ・消毒を行う場合には、長袖、長ズボン、メガネ、マスク、ゴム手袋を使用し、皮膚や目にかからないよう注意して下さい。室内で広範囲に消毒を行う場合は、窓を開け換気を良くして下さい。
- ・噴霧はぬれる程度に噴霧しないと消毒の効果は得られません。また、吸入によつてのどに炎症が起こることがあります。噴霧はできるだけ最小限にしましょう。
- ・皮膚についた場合は流水と石けんで良く洗い流して下さい。目に入った場合は水で十分洗い流し、医師の診察を受けて下さい。
- ・消毒薬を希釈して使用する場合は、その日のうちに使用して下さい。
- ・消毒薬(希釈したものを含む)は、他の消毒薬(希釈したものを含む)や洗剤と混合しないで下さい。
- ・浄化槽には消毒薬(希釈した液を含む)を入れないで下さい。

◆一般的な消毒方法

場所	消毒薬他	調整方法	使用方法等
地面(屋外、床下)	10%塩化ベンザルコニウム	1Lの場合:原液10ml(ペットボトルキャップ2杯)に水を加えて1Lに希釈。	排水後、泥等を除去し、じょうろ等を用いて地面にまく。
屋内 (汚水につかった壁面、たたみ、家財道具、手すり、風呂等)		10Lの場合:原液100mlに水を加えて10Lに希釈。	排水後、泥等を除去し、流水で洗い流すか、雑巾で水拭きし、十分に乾燥した後、希釈した液を雑巾等の布にひたして拭く。その後風通しを良くして乾燥させる。
食器、衣服類	家庭用漂白剤	家庭用漂白剤4ml(ペットボトルキャップ1杯弱)に水を加えて1Lに希釈。	洗った後、希釈した液に5分以上ひたし、水ですすいだ後自然乾燥させる。

◆上記以外の消毒方法

場所	消毒薬他	調整方法	使用方法等
地面(屋外や床下)	消石灰	そのまま使用。	水が引いてから、全体が白くなるようにまいてください。その後、じょうろ等で軽く上から水をまきます。(消石灰は湿っているところにまくことにより効果が高まります。)また、作業中に皮膚についたり、目やのどに入ると炎症をおこすこともあるため注意が必要です。
地面(屋外)	クレゾール石けん液	クレゾール石けん液30mlに水を加えて1Lに希釈。	汚水等を水で流さなくても大腸菌等の細菌に対し消毒効果が得られます。しかしながら、強烈な臭いが長期間残るため、屋内や床下には使用できません。屎尿、下水、動物の死骸あるいは氾濫した汚水により汚染された屋外の地面で、かつ、洗い流せない場合や他の消毒薬が無い場合のみに限定して使用するほうがよいでしょう。
屋内(汚水につかった壁面、たたみ、家財道具、手すり、風呂等)	家庭用漂白剤	家庭用漂白剤4ml(ペットボトルキャップ1杯弱)に水を加えて1Lに希釈。	排水後、泥等を除去し、流水で洗い流すか、雑巾で水拭きし、十分に乾燥した後、希釈した液を雑巾等の布にひたして拭きます。その後5分程度空けてから、再度、水拭きします(家庭用漂白剤は漂白や金属腐食作用があるため)。また、酸性タイプの洗浄剤と混合すると人体に有害な塩素ガスが発生するため、注意して下さい。
食器、衣服類	煮沸消毒	100°Cで5分程度沸騰	やけどをしないよう注意して下さい。